

<2014年度 内科（総合診療科－感染症科）後期研修医募集のお知らせ>

太田西ノ内病院 内科（総合診療科－感染症科）は2014年度の後期研修医を募集します!!

太田西ノ内病院は、福島県郡山市にある1~3次救急医療機関です。当院は、福島県の広大なエリアをカバーしており、非常に多彩な症例が集まります。市中病院であるため、**common disease** はもちろんのこと稀な疾患まで経験できます。病床数は約1000床であり専門科に細分化されていますが（ホームページ参照）、各科の垣根は低く、コンサルテーションしやすい環境が整っています。東日本大震災で被災しましたが、放射線量は低くなり、病院機能は震災前の水準に戻り、2013年4月には新病棟も開設されました。

当科では、まず内科認定医を取得したのち、最終的には総合内科専門医もしくは感染症専門医の取得を目指します。さまざま主訴で来院し、さまざま問題を抱えた患者さんに対して全人的な医療が展開できる医師を目指します。

成田雅先生を中心に感染症診療にも力を入れています。外来感染症の診療から他科の入院患者のコンサルテーションも受けております。そのため、**Gram**染色を活用した感染症診療や抗菌薬の正しい使い方、市中感染症から院内感染症まで勉強できます。また、全国的にも珍しい細菌検査室での研修も可能です。細菌検査室で、検査技師の仕事を学び医師業務に役立てることが可能です。

総合内科専門医を目指す先生、感染症専門医を目指す先生、最終的には外科系医・救急医に進みたいが内科認定医までは取得したい先生（内科認定医の症例は、当科で1年研修すれば集まります。）、他科に進んだが再び内科を基礎から勉強したい先生など、さまざまな希望に対応いたします。研修期間は、基本3~4年ですが、内科認定医をとるまでの1年間研修でも可能です。

総合内科を勉強するために、他科へのローテーションも希望に応じてもちろん可能です。

後期研修医の仕事は、主に病棟業務、**ER**業務（1~2次救急）、新患外来、予約外来、初期研修医の指導があります。

病棟業務は、当直帯や一般外来から入院した患者の問診、診察、治療方針を決定しマネジメントします。また、週1~2回上級医とともに教育回診を行い、身体所見を丁寧に指導してもらいます。チーフレジデントとして、病棟業務をおこなうことを目指します。

ER業務（週1~2回）は、日中に他院からの紹介や初診の1~2次救急患者の対応をします。その際に、救急患者の対応を学び、内科救急疾患を勉強します。3次救急にも興味のある方は、当院の救急麻酔科へのローテーションも可能です。

新患外来（週1回）は、当院初診の患者（紹介状持参、未持参含め）、また他科からの紹介の患者（不明熱の精査、生活習慣病の管理）の診察を行います。総合診療科の醍醐味がここにあると言っても、過言ではありません。主訴、現病歴、既往歴、生活歴、家族歴、身

体所見をとり、必要な検査を提出し、その後の方針を決めます。初期研修が終了したばかりで、外来が不安な方は週 1 回、上級医が外来の指導に当たります。

予約外来（週 1 回）は、担当患者の退院後のフォローや、高血圧・糖尿病・脂質異常症の管理などを行います。

初期研修医の指導、教育をすることが、自分にとって一番勉強になります。そのため、初期研修医とともにチームを組み、多彩な患者の対応に当たります。下記に示す教育的なカンファレンスを通して、初期研修医とともに勉強します。

月曜日 症例カンファレンス

火曜日 抄読会：後期研修医がさまざまな文献を持ち寄る

水曜日 臨床推論カンファレンス

木曜日 ドーナツカンファレンス：研修医が救急外来などで経験した教育的な症例を共有

金曜日 MKSAP (Medical Knowledge Self-Assessment Program) 勉強会

また、さまざまな勉強会も開催しております。

- ・ **Gram** 染色セミナー：毎年 6 月頃に全国から参加者を募集し、初期研修医・後期研修医が中心となって、**Gram** 染色による感染症診療を基礎から応用まで勉強します。最終的には、参加者が自分で **Gram** 染色ができるようになることを目指します。

- ・ **FACE** (Fukushima Advanced Course By Experts)：福島県立科大学と県立会津総合病院と協力して、3 か月に一度さまざま講師陣を招聘し、磐梯熱海温泉に 1 泊 2 日で総合内科などの勉強会を行います。過去の講師陣（順不同）：山中克郎先生（藤田保健衛生大学 救急総合内科）、徳田安春先生（水戸協同病院）、須藤博先生（大船中央病院）、などなど

- ・ 臨床推論カンファレンス：3~4 か月に一度、聖路加国際病院から **Gautam Deshpande** 先生を招いて、臨床推論カンファレンスと教育回診を行ってもらっています。

福島県郡山市は、東京から新幹線で約 90 分と近いいため、東京で開催される学会や勉強会にも日帰りで参加可能です。夏は新緑が美しく猪苗代湖や磐梯山へのドライブ、冬はスキー場や温泉が近くに待っています！また、日本酒がおいしく、モモなどの果物も絶品です。

当科の **Facebook** ページもご参照ください (<http://www.facebook.com/OhtaGIM>) ！

当院で研修すれば、かなりの臨床能力が身に着くと自負しております。

興味がわかれた方は、一度見学に来てください！

参考：ある卒後 4 年目後期研修医が一年間で主治医として経験した入院症例を掲載します（入院主病名のみ列挙）。

熱中症、ANCA 関連血管炎、Basedow 病、Bechet 病、Bell 麻痺、Crowned dens syndrome、偽痛風、SIADH、Vincent's angina（急性壊死性潰瘍性歯肉炎）、Wernicke 脳症、紅皮症

(悪性リンパ腫疑い)、悪性リンパ腫 (B 細胞リンパ腫)、胃癌 (stage4)、一過性脳虚血発作、一過性身震い様不随意運動、胃瘻交換、インフルエンザ A、うっ血性心不全、うっ滞性皮膚炎、うつ病、壊死性リンパ節炎、壊疽性膿皮症 (潰瘍性大腸炎)、化膿性椎体炎、感染性心内膜炎、肝膿瘍、急性腎盂腎炎、急性心筋梗塞、急性胆嚢炎、急性虫垂炎、緊張型頭痛、原発性副甲状腺機能亢進症、原発性副腎不全、高カリウム血症、甲状腺クリーゼ、好中球減少症(メルカゾールによる)、誤嚥・窒息、誤嚥性肺炎、骨髄異形成症候群、肺炎 (細菌、レジオネラ、マイコプラズマ、クラミジア)、メトトレキサート肺炎、サイトメガロウイルス腸炎、再発性多発軟骨炎、ジギタリス中毒、出血性胃潰瘍、腎血管性高血圧、じんましん、成人 Still 病、腺腫様甲状腺腫による気道狭窄、丹毒、ツツガムシ病、伝染性単核球症、尿路感染症、ネフローゼ症候群、脳梗塞、橋本病、発熱性好中球減少症、パルボウイルス B19 感染症、蜂窩織炎、肺膿瘍、皮膚軟部腫瘍 (悪性リンパ腫)、不安神経症、末梢性めまい、マラリア感染症(熱帯熱+三日熱の混合感染)、無菌性髄膜炎、門脈気腫症・腸管気腫症、薬剤熱、リウマチ性多発筋痛症、両側腎膿瘍・肝膿瘍・敗血症 (K.pneumobia)、失外套症候群(低血糖脳症、低酸素脳症)